

令和7年度 第2回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日時:令和7年7月8日(火)18時30分～
■会場:オンライン(Zoom)

1.報告事項

- (1) 業務月次報告(資料1)
- (2) ボランティアコーディネータ状況等月次報告(資料2)
- (3) ボランティアコーディネータ実績表(資料3)
- (4) 業務予定(資料4)

○事務局より、(1)～(4)について資料を用い説明を行った。

【副委員長】ボランティアの特技とあるがどのようなものがあるのか。

【事務局】主にデイサービスからの依頼が多く、見て楽しめるもの、聞いて楽しめるものの希望があり楽器の演奏などの紹介が多い。他にも落語やフラダンスなども披露してもらっている。

2.審議事項

- (1) 令和7年度第1回運営委員会要点記録(未定稿)について(資料5)

3.協議事項

- (1) 「ボランティアセンターとしてできること」について(資料6、参考資料)

【事務局】経緯について説明する。「夏!体験ボランティア」に多くの学生が申し込みをしてくれるが、この期間が終わるとボランティアが切れてしまう。ボランティア登録をしてもらい通常のボランティア活動に参加してもらいたいと考えている。それと合わせ、学校側がどのようなボランティアを必要としているのか把握しきれないため学校のニーズを拾っていきたい。今後、学校とボランティアセンターとのつながりを強化するため、学校に向けボランティアに関するニーズ調査をおこなうことになった。学校が求めているものが明らかになると良い。アンケートのコンセプトとしては、学校関係者にボランティアセンターが認知されていないのではないかと踏まえ、アンケートを通しボランティアセンターが紹介する活動を知ってもらいたい。また、調査を通じて学校が求めているものを知ることによりつながりを強める第一歩としたい。(資料7)にアンケート項目を用意したので意見をいただきたい。

○(資料7)の説明を行った。

【副委員長】総合的な授業で福祉的な依頼があると思うが、出前授業というところではボランティアセンターに毎年何校から依頼があるのか。

【事務局】令和6年度は5校からの依頼があり、延べ7回おこなった。

【副委員長】リピーターがあるということか。

【事務局】その通りである。また、2回で1プログラムの場合もある。

- 【副委員長】総合的学習ということは小学校に限られているということか。
- 【事務局】市内の小学校と一緒に取り組んでいる授業である。
- 【副委員長】少なくともその5校はボランティアセンターを知っていて関わりを持っているということか。
- 【事務局】その通りである。
- 【委員】校長会でこの話をした。異動してきた先生などはボランティアセンターがどのようなことをしてくれるのか分からない。アンケートを取る際には、どのようなことがお願いできるのか、学習支援以外にも課題のある児童に関わる生活支援など具体的な内容であると良い。現状は教育実習に来た大学生にボランティアをお願いしたり、TEPRO を利用してボランティアを紹介してもらっている学校もあるのではないかと。TEPRO では遠方から来る人も多い。西東京市にもあるということが広く認知されたらニーズがあるのではないかと。
- 【事務局】生活支援とは具体的にどのようなことか。
- 【委員】例えば、支援を必要とする児童がいた場合、先生が付きっきりになれない。見てくれる人がいると授業が滞ることもなく助かる。
- 【事務局】授業中の児童見守りということか。
- 【委員】その通りである。
- 【委員長】このアンケートはいつおこなうのか。
- 【事務局】8月には学校に送付し9月に取りまとめ10月の運営委員会でアンケート結果の報告を行う予定である。
- 【副委員長】主に副校長が窓口になると思うが、担任の先生がそれぞれに困りごとがある。各学校で複数回答してもらってよいのか。
- 【事務局】各学校につき1枚としている。
- 【副委員長】代表が答えるということか。
- 【事務局】その通りである。
- 【副委員長】先ほど出た児童見守りについて委員に聞きたい。1日中、同じ人でなくても良いのか。
- 【委員】もちろん同じ人でなくて良い。短い時間でも時間がある時だけでも構わない。
- 【委員長】このアンケートの内容で生活支援の見守りのイメージが共有されたと思う。そのあたりを追加し8月を目途に進めて良いか。他に意見はあるか。
- 【委員】夏休み中に学校へ出すのであれば事前に校長に伝えることができる。
- 【委員長】ボランティアセンターが校長へ届けるまでに手続きに要する手順や日程を知りたい。
- 【事務局】本日いただいた内容を加え、回答していただくための準備を進めていく。日程については夏休み期間中か新学期を迎える頃が良いのか検討していきたい。
- 【委員長】日程について、受ける側の委員に聞きたい。
- 【委員】ニーズがあると思われるので早い方が良いと考える。
- 【副委員長】中学校には出さず小学校にのみ出すということか。
- 【事務局】小学校に限ってはいない。小・中学校に送付する。
- 【副委員長】小学校は育成会や保護者の関わりが多いが中学校はPTAなどもあまり活動していないのでボランティアセンターが力になるのではないかと。
- 【委員長】小・中学校に送付し早めに回答してもらえると良い。

4.その他

(1) 次回開催日

■日時:令和7年10月14日(火)18時30分～

■会場:オンライン(ZOOM)

配布資料

資料 1 : 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(5月~6月)

資料 2 : ボランティアコーディネート状況月次報告(4月~5月)

資料 3 : ボランティアコーディネート実績表(4月~5月)

資料 4 : 業務予定(7月)

資料 5 : 令和7年度第1回運営委員会要点記録(未定稿)

資料 6 : 「ボランティアセンターとしてできること」について

資料 7 : 「ボランティアセンターとしてできること」アンケート項目

参考資料: 令和6年度西東京コミュニティ・スクール実践事例集